



【学校教育目標】

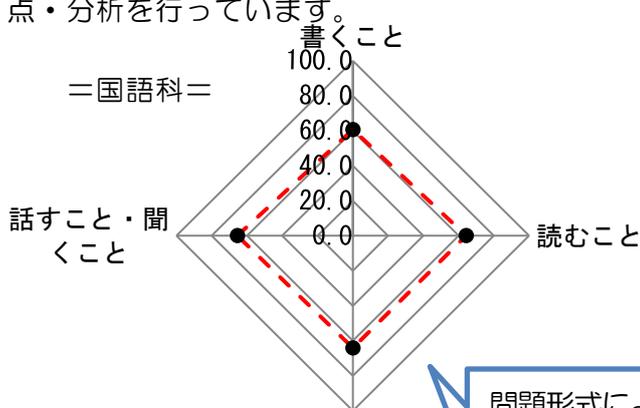
〇すすんで やりぬく子 〇えがおで 元気な子
 〇広い心で やさしい子 〇六年間を 自ら学ぶ子
《令和2年度の重点》
 ・自分の良さを活かし、支え合いながら
 力を高める子を育む
 ～わたっていていいな！きみってすごい！

令和2年9月30日発行 第8号

千歳市立末広小学校 TEL : 23-4127 FAX : 23-4128

令和2年度全国学力・学習状況調査の結果から

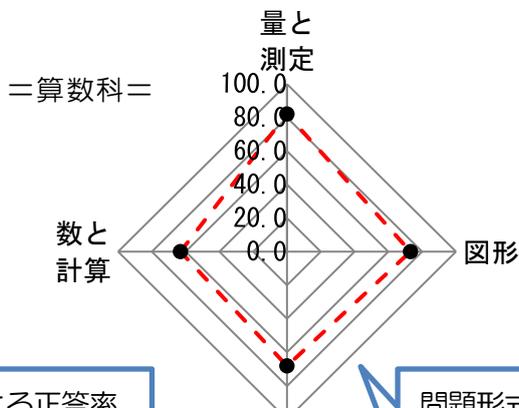
今年度は標記調査について、コロナ禍による臨休の影響を受け、例年通りの時期に実施することはできませんでした。本校では学校再開後の7月末に実施いたしました。全国・全道などとの比較はできませんが、子どもたち一人一人の学びの状況について今後の指導に生かしていくべく、本校職員による自校採点・分析を行っています。



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

問題形式による正答率

選択式	11問	74%
短答式	2問	61%
記述式	2問	12%



数量関係

問題形式による正答率

選択式	4問	72%
短答式	8問	71%
記述式	4問	58%

児童質問紙の結果から

- 「自分には良いところがある」と答えた子の割合が8割以上でした。
- 「先生は、あなたのよいところを認めていてくれる」と感じている子の割合が95%以上でした。
- 学校の授業時間以外に1時間以上学習している子の割合が6割程度でした。
- ・ 学習塾(家庭教師も含む)で勉強している子の割合が4割程度でした。
- ▲ 「朝食を食べないことがある」と回答した児童が、1割弱いました。
- ▲ 携帯電話・スマートフォンの使用について、“家の人との約束を守っている”と回答した子が6割ほど、“約束がない”と回答した子が1割弱いました。
- ▲ テレビを見る時間、ゲームをする時間などのルールを家庭で“決めている”が7割、“決めていない”が約3割でした。
- ▲ 1日当たりゲームをする時間について、“1時間以上する”が7割強、中でも“4時間以上する”が2割強となりました。

自己有用感の向上が見られます。認め合いによる安心感・信頼感を基盤として、期待に応えたい・自分らしさを遠慮せず表出したい・自分も仲間も笑顔で過ごしたいという前向きな気持ちで学校生活を送ることで、今後も「わたっていていいな！きみってすごい！」を合言葉にした学校づくりに努めていきます。

学習に向かう姿勢の一つとして、家庭学習に関しては、学校としての目安「学年×10+10分」をしっかり守っている子が多く大変立派です。一方で40%程度の児童ができていないという結果でした。今後も家庭学習が充実するよう働きかけていきます。

最後に、ICT機器・SNSツールの発達とともに、かつて見られなかった課題が見られるようになりました。特にゲームに費やす時間が多く、伴って学習時間・手伝いの時間の減少が懸念されます。視力の低下、睡眠の質低下なども心配されます。各家庭において、使い方や使用時間等についてお子さんとしっかり話し合ってくださいと思います。

国語科・算数科で見られた本校の特徴的な問題について

国語

- 〔条件〕
- 「A」～「E」の中から「A」～「E」までのうちから、括弧内をインスタント食品のよさを取り上げて書く。
 - 実際に発表をしているような言葉（「うまい」「おいしい」）を2以上用いよう。
 - 四十文字以上、六十文字以内でまとめて書くこと。

〔発表の様子〕

みなさんは、どのようなところがよさだと思えますか。

今、身の回りには、たくさんインスタント食品があり、ぼくの家でも食べるものがあります。ぼくは、「簡単」「おいしい」というところがインスタント食品のよさだと思っていましたが、それ以外に、もっとよさがあるのではないかと思いました。そこで、身近な人に取材してみました。いろいろなよさが分かりました。

ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは

三 青木さんは、取材を通して分かったことをもとに、インスタント食品のよさについて発表をします。あなたが青木さんなら、どのように話しますか、次の「発表の様子」の□に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〔下書き①〕

- やってみよう プラスチックの3R
- 家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できた□の中に入れてください。どのくらい実行できているかをつたしましめよう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3R週間 チャレンジ表

3R	具体的な行動
減らそう	<input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない
リデュース (Reduce)	<input type="checkbox"/> 水どうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/>
くり返し使う	<input type="checkbox"/> シャンプーは詰めかえ用を使い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんは詰めかえ用を使い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/>
リユース (Reuse)	<input type="checkbox"/>
責げんに変えよう	<input type="checkbox"/> ペットボトルを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> 食品用のトレイを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/>
リサイクル (Recycle)	<input type="checkbox"/>

〔本の一部〕「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使う

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすい。さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になってはならないものも出ています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りでは使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

条件を3つとも満たしていない場合、誤答となります。今回の問題では、条件2を満たしていない解答が目立ちました。

取り上げて書いたことがわかるような表現にするのが大変難しかったようです。

正答率は、約5%でした。

〔下書き②〕

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」

- 知っていますか プラスチックごみの問題
- わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。
- しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べってしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くかえたいようをあたえていることにひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器的生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。
- プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれど、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のよう使うという考えをあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」を提案します。3Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを責げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

〔A〕大切なことは、行動することが大切だと思います。

- 一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をもとに、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 読者に「プラスチックごみの問題」の内容を書いている。
 - 2 身近にある具体例を最初に書いている。
 - 3 行動することの重要性を最初に書いている。
 - 4 全体を要約した文章を最初に書いている。
- 二 岩田さんは「下書き②」の□に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけた。次は、その「本の一部」です。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。
- 〔条件〕
- 「本の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 岩田さんが、何となく本から言葉や文を取り上げて書いたのが分かるように書くこと。
 - 書き出した言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は文字数にふくむ。

算数

3

ようたさんたちは、分数のたし算について考えています。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{4}$ の計算をましよう。

(2) ようたさんたちは、 $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{4}$ を合わせると何になるのかを考えています。式は、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ になることがわかりました。

1 L を $\frac{1}{2}$ とすると、 $\frac{1}{2}$ L は $\frac{1}{2}$ と表すことができますね。

私も、 $\frac{1}{2}$ L を $\frac{1}{2}$ と表して考えようと思います。

ようたさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、図をもとに考えました。

答えは $\frac{3}{4}$ L になりました。

$\frac{2}{4}$ L ではないのかな。

$\frac{2}{4}$ L だとすると、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L をたしているのに、 $\frac{1}{2}$ L より小さくなっていますよ。

本当ですね。 $\frac{1}{2}$ L は1 L の半分だから、半分よりも小さい $\frac{2}{4}$ L になるのは、おかしいですね。

(3) 次に、はなごさんは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、下のようになっています。

〔はなごさんの計算の仕方〕

$\frac{1}{2}$ L $\frac{1}{4}$ L

1つ分の大きさを□にそろえる

$\frac{2}{4}$ L $\frac{1}{4}$ L

□が2つ分 □が1つ分

$\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、□のいくつ分かを考えると、 $2 + 1 = 3$ という整数のたし算に表すことができます。□が3つ分なので、答えは $\frac{3}{4}$ です。

〔はなごさんの計算の仕方〕の中の、1つ分の大きさを□は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさを□は、 $\frac{1}{4}$ L を表しています。

上の文の□に入る数を書きましよう。

はなごさんは、【はなごさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、【はなごさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○のように直す必要があることに気付きました。

〔はなごさんの考え〕

だから $\frac{1}{2}$ L $\frac{1}{4}$ L $\frac{2}{4}$ L

〔ようたさんの考え〕

だから $\frac{1}{2}$ L $\frac{1}{4}$ L $\frac{3}{4}$ L

1 L の大きさを□と表すとき、【はなごさんの考え】の中の○は、【ようたさんの考え】の中の○のように直すなければいけません。【はなごさんの考え】の中の○を直すなければいけないわけを、次のようにまとめます。

- 〔ようたさんの考え〕の中の○のように、
- ① $\frac{1}{2}$ L を4等分しなければいけないのに、
 - 【はなごさんの考え】の中の○は、
 - ② $\frac{1}{2}$ L を4等分しているからです。

上の文の○、①に入る数を書きましよう。

(4) さらに、ようたさんたちは、分数のたし算で考えたことをもとに、小数のたし算でも同じように考えたことについて、ふり返っています。

小数のたし算の学習でも、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して、答えを求めることができましたね。例えば、 $2.51 + 0.36$ も、同じように考えることができるのかな。

はなごさんは、 $2.51 + 0.36$ について、次のように説明しています。

〔はなごさんの説明〕

$2.51 + 0.36$ について、0.01 のいくつ分かを考えると、 $251 + 36 = 287$ という整数のたし算に表すことができます。0.01 が287個分なので、答えは2.87です。

$0.75 + 0.9$ も、同じように考えることができるのかな。

ようた

$0.75 + 0.9$ について、【はなごさんの説明】と同じように、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明すると、どのようになりませんか。言葉と式を使って書きましよう。

② L という単位が「1 L」をもとにするという基本的な考えを問う問題です。正答率は、約40%でした。

③全問題を通して最も正答率が低くなりました。正答率は、約30%でした。

「0.01」をもとにすると「0.75」は「75」、「0.9」は「90」と考えます。ですが、「0.9」を「9」と誤答した子が多くいました。

また、問題文の中にある【はなごさんの説明】をもとにして、数値だけ置き換えると楽に解答文を書くことができました。

$2.51 \rightarrow 0.75$ $0.36 \rightarrow 0.9$
 $251 \rightarrow 75$ $36 \rightarrow 90$ $287 \rightarrow 165$

ところが、【はなごさんの説明】をもとにせず、独自の表現でわかりづらくなったり、誤答してしまったりした子どもも少なくありませんでした。

2 岩田さんの学校では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、「プラスチックごみの問題」について調べ、減らすための行動について調べた。次に、岩田さんが書いてある文章の「下書き①」と「下書き②」です。これらをもとに読んで、あとの問いに答えましよう。